

福祉科3年生 坂下小学校交流会 「福祉体験学習」を実施しました！

1月16日（月）5、6限、坂下小学校6年生44名が来校し、福祉科3年生29名と「福祉体験学習」を実施しました。12月に普通科3年生が坂下小学校1・2年生の皆さんと「読み聞かせ・交流会」を実施しており、これが坂下小学校との交流会第2弾となりました。

今回は、「福祉学習」として「高齢者体験」を行い、小学生の皆さんが毎日の生活の中にある福祉に気づき、福祉は特別なものではないこと、「**3**つうの**く**らしの**し**あわせ」だということに気づいてもらいたいと考えました。また同時に、生徒たちがこれまでの学習を異年齢の子どもたちに分かりやすく伝えられる機会でもありました。

高齢者体験は、小学生の皆さんに4つのグループに分かれ、①かるた（狭い視野、聞こえにくさを体験） ②高齢者疑似体験（からだの不自由さを体験） ③福笑い（視覚障害の不自由さを体験） ④車いす体験（使用者、介助者体験）を順に、担当高校生の説明のもとで体験してもらいました。皆、最初はかたい表情だったものの、グループに分かれて活動し始めると、質問しながら活発に活動できました。普段福祉科では、地域の方や高齢者の方との交流ばかりで低年齢層の方との交流は不慣れで戸惑うこともありました。本当に貴重な機会となったようです。



車いす体験



高齢者体験かるた

感想より

- ・自分たちが小学生の時にはこのような体験をしたことがなかったので、こういう機会をもっと増やしていけるとよいと思いました。自分たちも高齢者の人たちの状況を改めて知り考えることができました。6年生の人たちもよい経験になったと思います。これを機に福祉の大切さやおもしろさなどが少しでも伝わればよいなと思います。(K)
- ・車椅子の種類や乗るときに気をつけることなど知ってもらえたらいいなと思いました。段差を上がる時にゆっくり慎重にしたり、車椅子を降りる時にロックをかけること、フットレストをおろしたまま立ち上がらないことなど、事故が起きないように気をつけてもらいたいと思いました。背もたれの角度を変えられたりアームレストが取り外しできたりすることとその意味など、たくさんを知ってほしいと思いました。(o)
- ・3年生の終わりの国試が近い中で、みんなが協力して準備から本番、片付けまでやることができたのでよかった。小学校6年生ぐらいの子に対してどう接したらよいか分からなくて少し不安でしたが、とても楽しみながらできたと思うのでよかったです。できれば国試が終わってからか、もっと前に実施できるとよかったです。(K)



高齢者疑似体験（用具をつけて）